

### 災害に強い地域づくり 身近に感じるまち

みどりの会 竹内靖人



らもわかりやすく身近なものに工夫し、「見える化」を徹底することにより市民理解を進めたい。

質問 災害時に孤立する集落は。どのような情報伝達・対応を考えているのか。地域の避難所に対する考え方は。

総務部参与 災害時に孤立する集落が市内に五十七箇所あり、的確な情報伝達をしていく必要がある。行政の力だけでは限界もあり、被害の軽減に地域の力、自助・共助による取り組みも必要と考える。避難所は指定施設が遠い場合、地域の中で安全な場所を普段から確認し、臨機応変に避難場所としてほしい。

質問 行財政改革に取り組んでいるが、市民はどのようにみていると思うか。  
市長 行財政改革の効果は市民にとつてみえにくく、説明責任を果たす観点か

### 新型インフルエンザの学校の対応は

津山誠心会議 田口慎一郎



県の基準から休業などの措置も検討しているが、行事のすべてを中止することとは、教育的な観点から困難と考え感染状況を勘案し、必要に応じて対策を講じていく。

要望は昨年度は百三十二件を関係機関に提出、二十三箇所が改善済み。三十二箇所が検討中。緊急性の必要箇所は臨機応変に対応。関係機関とより密な連携を図り、改善に向けて要望していく。協働では、初の取り組みである公募提案型事業の五件について事業効果の検証を行い、このことから協働にアピールしていく。

質問 通学路の改善状況は。市民と職員との協働の関係は。  
答弁 感染拡大が懸念されるため、各学校へ消毒スプレアの配置を進めている。

### 来年度の農林業の推進対策

みどりの会 川崎 修



質問 津山市の目指す農林業の形態は。  
答弁 国の三つの交付金事業と、農商工連携のメリットを最大限活かし、地域農林業の持続的な発展を目指す。

質問 畦畔管理の省力化・獣被害の防止の取り組みをどのように進めるのか。

答弁 畦畔管理の件については、現取り組み地区をモデル地区としてバックアップしていき、一体となって取り組む。獣害対策については、専門的に研究している機関等の指導助言を受けながら取り組む。

質問 中山間地域等直接支払交付金事業の第三期対策への取り組みは。  
答弁 国の制度を熟知し、区域拡大に向け、積極的に推進する。

質問 外国資本による水源林等の買占め問題にどう対応されるのか。  
答弁 今後の国の方向性に注目したい。

### 若い人たちの経済・雇用が厳しい！

市民と歩む会 黒見節子



来計画」を策定。センター職員も実務者の適正配置を望む。

質問 若い市民の経済状態は？

答弁 年間所得二百万円以下は二十代七十一%六千五百人、三十代五十%六千人。その内、百万円以下は二十代三千人、三十代三千二百人。若年層に厳しい雇用状況が続いている。

質問 雇用創出の状況や支援は？

答弁 緊急雇用創出等で五十二人採用し、残り九十八人募集予定。雇用労働センター内で相談業務を実施中。来春卒業予定の高校生の求人状況も昨年比二十%減少と厳しく、今後各機関と採用枠拡大を検討依頼したい。

質問 学校給食の今後の姿は？  
答弁 戸島食育センター稼働一年、多くの人の協力で乗り切れた。食材購入の専門部会を設けた。今後「給食食育将